

ACOLS ニュース No.139

次世代シーケンサーデータ解析 企業セミナーについて

平素よりお世話になっております。

この度、次世代シーケンサー解析ソフト ヒトエキソームSNV絞り込みシステム(メイズ社)を導入することとなり、それに先立ちまして次世代シーケンサーデータ解析サービスを提供している三社の各企業担当者によるセミナーを行います。参加される方は下のメールフォームにて申し込みください。詳しい内容については、以下のポスターをご参照ください。

<セミナー詳細>

候補探索の精度の重要性と Missing Pieces の発見 ～高精度候補探索ツールの紹介～

日時：平成25年1月28日(月) 15:00~17:00

会場：霞総合研究棟701号室

申し込み：1月25日(金) 17:00までに下記フォームでメールにてご連絡下さい。

なお、会場の都合により参加人数の調整を行う可能性がありますので、ご了承ください。

宛先 acols@hiroshima-u.ac.jp(生命科学機器分析部)

件名 次世代シーケンサーデータ解析 企業セミナー参加申し込み

内容 1.研究室名

2.参加者名

3.連絡先(電話・メールアドレス)

<連絡先>

自然科学研究支援開発センター 生命科学機器分析部

霞総合研究棟 107 号室 (担当:森原) 内線：(霞) 6870

E-mail:acols@hiroshima-u.ac.jp

HP:<http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

追記:本施設を少しでもご利用いただき作成された論文には、「謝辞」に当施設利用の旨を記していただきたいと存じます(謝辞例文 This work was carried out at the Analysis Center of Life Science, Natural Science Center for Basic Research and Development, Hiroshima University.)さらに、実績として役立たせていただくため、別刷 1 部(コピー、pdf ファイルでも結構です)を本施設にご提供いただければ幸いです。

候補探索の精度の重要性と Missing Pieces の発見

～ 高精度候補探索ツールの紹介 ～

DNA マイクロアレイ解析、プロテオーム解析、そして最近では、次世代シーケンサによる配列解析と、網羅的解析方法は、桁違いに多量なデータを低コストで産出するようになりました。これにより、網羅的な解析結果を得ることは困難なことではなくなり、手法を利用することそのものがアドバンテージにはならなくなったことを意味します。つまり、ユニークな研究成果は、研究目的の独自性・新規性、そして、研究目的に適した解析方法を選択、それに独自の工夫を加えるという至極当たり前のことにより生まれるということになってきているようです。

網羅的解析は、多くの遺伝子を検出対象にして一度に行われる実験ですので、高精度に実施するには、実験やデータ解析の各 STEP での事前の準備や測定されたデータの精度の検証などに注意を払う必要があります。加えて、検出される多くの候補から、現実的に confirmation や機能解析の実験が可能な候補数に絞り込む方法も、成果を得るためには重要な要素となります。

本セミナーでは、まず、次世代シーケンサを含めた網羅解析手法についてご紹介し、次に、測定値を厳しく評価した上で確からしい候補遺伝子を得るために有用である解析ソフトウェア SubioPlatform、さらに、多量に産出される候補遺伝子を論文情報によって絞込むことができる Keymolnet を実際の解析例を基にご紹介いたします。どれも made in Japan の独自性の高い製品で、研究に関するアイデアや工夫に応える有用なツールになると思われまます。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

演題 1

「網羅的解析の重要なポイント」

データ解析の視点から見える網羅解析のできること・できないこと。
アレイ解析、次世代シーケンサ (Exome 解析、mRNA-seq)、HiCEP・・・

株式会社メイズ
代表取締役 湯野川春信

演題 2

「Subio Platform ドライとウェットの橋渡しをする解析ソフト」

データ解析を、統計処理することと思っている方が多くいらっしゃいますが、それはほんの入り口に過ぎません。生物学的な解釈には、そこからさらにウェットな研究者を交えた検証に踏みこむことが必要です。Subio Platform は、チームで解析作業をすすめるためのソフトウェア基盤です。

株式会社 Subio
代表取締役 田部暁郎

演題 3

「KeyMolnet で Missing pieces を発見する」

GO 解析やカノニカルな Pathway 情報だけで、満足していますか？
自社研究員が論文を読み、ディスカッションを尽くし、10年以上の歳月をかけて構築した論文指向型分子ネットワークデータベース KeyMolnet の威力をご紹介します。

株式会社 KM データ
代表取締役 谷口理恵